

おてひるね

スクールカウンセラー
福永 由里香

運動会まであと一週間。子どもたちは元気いっぱいに過ごしていますが、疲れも出てくる頃だと思います。心と体の健康に細心の注意をお願いします。

さて、運動会とは、別のお話です。

【気付く】気になる行動や反応はありませんか？

宿題をやっているのかな？ と思っていると、ぼーっとしていたり、手遊びをしていたり、マンガを読んでいたりと、なかなか進んでいない。集中して取り組みれば、10分ぐらいで終わるはずなのに…、なぜ？

明日の準備をしていると、あれやこれやが気になってしまって、口うるさく言わないと、なかなか終わられないのは、いったいなぜ…？

学校公開で授業の様子を見てみると、ぼんやりしていて、先生のお話を聞いていないように感じるのだけれど…、大丈夫？

本を読んでいると、呼びかけても全く気付かず、体をゆすってようやく気付くほどの集中。集中力があるのは良いことだと思うのだけれど…、学校で活動の流れについていけているのかどうか心配。

【理解する】 注意力？ 集中力？

こういったご相談を受けることがあります。注意力、集中力という言葉を目にしたことがあるかと思います。注意力には、いろいろな面があり、子どもさんによって様々です。注意をどのくらい強く向けられるか、どのくらいの広さに向けられるか、どのくらいの長さ向けられるか、切り替えはどのくらいスピーディーか。

子どもたちは「わざと」望ましくない行動をとっているわけではありません。努力や気合いが足りないわけでもありません。子どもさんが持っている注意の持ち味から、そうなっていることもあります。

一緒に考えていきます

子どもたちは、自分の言動を注意されたり叱られたりしても、自分だけでは改善することができずに心が傷付いたり、どうしたらいいのか子ども心に困っていたりすることがあります。

なるべく早い段階で、その状態や状況に気付いて、その子にあった対応をしていくことが大切です。何らかの特別な支援や配慮を始めていくことで、子どもたちが感じている困難さを減らしていくことが可能です。

「なぜ？」と思うようなことがありましたら、ご相談下さい。一緒に考えていくことができます。

